

(第8号様式)

川崎市テレワーク導入促進補助金に係る事業実施報告書

令和2年 9月〇〇日

(宛先) 川 崎 市 長

本店所在地 **川崎市川崎区〇〇町 1-1**  
企 業 名 **川崎〇×工業株式会社**  
代表者職・氏名 **代表取締役社長川崎太郎** 印

令和2年6月〇〇日付け川崎市指令**経工**第〇〇号をもって交付決定を受けた標記補助金について、補助事業が完了しましたので、川崎市テレワーク導入促進補助金交付要綱第12条の規定により報告いたします。

添付資料

- (1) 実施報告書（別紙）
- (2) 支払いを証する書類の写し
- (3) その他市長が必要と認めるもの

(第8号様式別紙)

## 実施報告書

### 1 実施期間

事業の実施期間	(着手)令和2年 7月 1日 ~(完了) 令和2年 8月 31日
---------	----------------------------------

### 2 事業実施場所

事業の実施場所	<input checked="" type="checkbox"/> 本店 (交付申請書に記載の所在地と同じ) <input type="checkbox"/> その他 (住所: )
実施場所において常時雇用する従業員数	20人

### 3 テレワーク実施結果

テレワークで実施した業務内容	・経理処理(会計、請求業務等) ・社員の給与計算 ・売上等に関する資料作成 ・社内外へ発信する文書の作成	
テレワーク実施日	7月1日、8日、15日、22日、29日 8月5日、19日、26日	
テレワーク実施人数	2人	「1 事業実施期間」に記載の期間中、本補助金で導入した端末の数と同じ人数(端末を導入しない場合は1人)以上の方が月に1回以上、テレワークを実施する必要があります。
テレワーク実施回数	のべ 16回	
テレワーク実施者の通勤方法	<input checked="" type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> その他 ( )	
実施による効果	公共交通機関の混雑緩和への効果 (通勤体制の変更による公共交通機関の利用減少等を記入) <b>電車・バスで通勤する社員2人が1週間に1回テレワークを実施することにより、公共交通機関の混雑緩和のほか、子育て中である社員のライフワークバランスの確立にも寄与した。</b>	
	その他の効果 (業務の効率化が図れたことなどを記入) <b>また、これまでシステム化が進んでいなかった当社においては、経営計画を立てる上で必要となるデータを容易に抽出可能になるなど、経営面での効果も確認できた。</b>	

(テレワーク導入に係る経費内訳及び補助額計算)

対象事業	経費区分	内容	規格(型番)	数量(単位)	単価(円) ※税抜額を記載	補助対象経費(円) ※税抜額を記載
設備導入費	備品購入費	オフィスソフト	○×オフィス	2個	12,000円	24,000円
		セキュリティソフト	○×セキュリティ	2個	5,000円	10,000円
		ノートパソコン(リース契約)	○×製 XXX-XX	2台	89,000円	178,000円
	賃借料	リモートデスクトップツール	○○システム	2ユーザー	15,000円	30,000円
		クラウドシステム	○○クラウド会計システム	2月	15,000円	30,000円
	使用料	WEB会議システム	○×会議	2月	10,000円	20,000円
		補助対象経費合計 ①				
補助申請額 ①×1/2(上限20万)					146,000円	

対象事業	経費区分	内容	事業者	数量(単位)	単価(円) ※税抜額を記載	補助対象経費(円) ※税抜額を記載
コンサルティング費	専門家謝礼					
	委託料	パソコンへのインストール、設定作業	○×商事(株)	2台	5,000円	10,000円
		マニュアル作成	○×商事(株)	1式	40,000円	40,000円
補助対象経費合計 ②					50,000円	
補助申請額 ②×1/2(上限5万)					25,000円	

※足りない場合は、行を増やしてお書きください。